

内地への後送と戦闘機部品の転用のこと

森健哲（友人の父からの話、大正 10 年生まれ）

小学校時代からの友人の父親からの話です。友人の父親は 10 年ほど前に亡くなりましたが、生前に戦時中の話をよく聞かせてくれました。

海軍に志願して入り、二式飛行艇の整備を担当されておりました。サイパン島へ派遣されたものの肺炎になり、内地に帰されたため、玉碎を免れました。終戦を迎えた後、紫電 21 型（紫電改）のタイヤかゴム部品から、ゴム草履を作り、勤労奉仕に来ていた女子学生に差し上げたらとても喜ばれたそうです。